

Step 1

5歳児5月の水風船遊びの姿から、資質・能力が育まれている幼児の具体的な姿である「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を読み取ってみましょう。

A児は、年中組が水風船を作っていたのを見て「ヨーヨーが作りたい」と言い、材料の置いてある場所から透明のビニル袋を探してきた。何度も膨らまそうとするが、息を吸ってしまい膨らませることが難しい様子だったので、保育者が手伝って膨らませ、輪ゴムで縛ることを提案した。

保育者が着目したポイントとなる具体的な姿

A児はゴムを指にはめると、「ふわふわしすぎる。バンバンってならない。」と言った。



近くにいたB児が、「本当のヨーヨーってさ、水が入っているんだよ。」と言うと、A児は「ああ、そうだ。」と言い、輪ゴムを外してビニル袋に水を入れ、吹き口を輪ゴムで止めて指にはめて繰り返し振ると、「何かすぐ手に当たってバンバンってならない。」と言った。



B児が「指にはめるところが短過ぎるよ。輪ゴム、長くすれば？」と、輪ゴムを2本つないで水風船に付けてA児に渡した。A児は早速振ると、「うまかった。」と笑顔になった。



しばらく遊んでいたA児が「先生、もっと面白くしたいんだけど、石けん入れていい？」と言った。

保育者が「石けん？袋の中に？どうやって？」と驚いて見せると、「小さくなった石けん入れる。」と言った。

そこで、保育者は石けんをおろし金ですりおろして細かくする方法を提案し、やって見せると、A児が「おお、すげえ。石けんって、削れるんだ！」と声を上げた。

保育者が「すごいよね。何だか実験みたいだね。」と言うと「そう！実験だ。」とA児の目が輝いた。その様子をずっと見ていたB・C・D児も「やってみたい。」と言い、ビニル袋に絵を描き、削った石けんと水を入れて振り始めた。

みるみる泡ができ、振れば振るほどきめ細かい泡になる様子に、「すごい。」「見て、見て。」と声を上げて大喜びし、その様子に周りにいた子が次々に「やってみたい。」と作り始めた。

「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」の読み取り

A児は、手の平に伝わる振動や音など、自分が思っていた水風船の感覚と比較して、不思議に思い、友達に伝えている。B児の考えに触れ、疑問が解決できたことを喜び、水を入れたり、輪ゴムを長くしてもらったりして、イメージに近づけようとしている。

【健康な心と体】【自立心】【協同性】
【思考力の芽生え】【言葉による伝え合い】

B児は、A児のヨーヨー作りを興味深く見ていたので「バンバンってならない。」というA児の疑問に共感し、これまでの体験で分かったこととA児の水風船を結び付けて考え、言葉や動きで伝えようとしている。

【自立心】【協同性】【言葉による伝え合い】
【思考力の芽生え】【道徳性・規範意識の芽生え】

A児は、繰り返し振る中で、水の中に石けんを入れて振ると、泡ができて面白いのではないかと思いつき、保育者に伝えている。石けんを削る提案や「実験」という言葉を聞き、わくわくした気持ちを感じている。

【思考力の芽生え】【言葉による伝え合い】



もっと面白くしたい…
「実験」…カッコいい言葉だね！
あわあわだ。すごいなあ、見て！
新しいことに挑戦したい！
やってみよう、発見しちゃった！
面白さを伝えたい、共感したい！

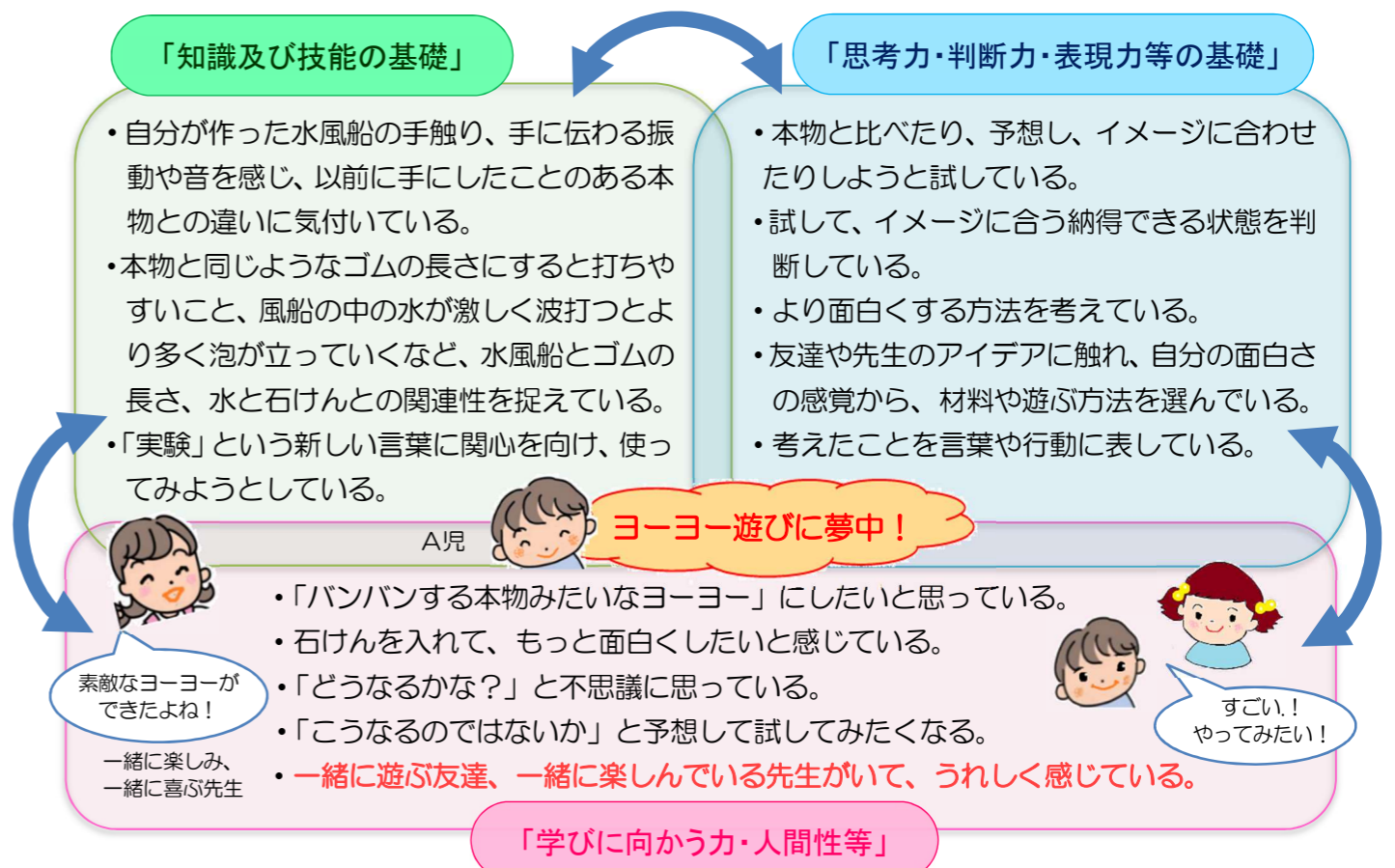
A児は、振るほどにきめ細かい泡になることに気付き、驚きや喜びを、言葉や動きで友達に伝えている。夢中で遊ぶA児に興味をもったB児らも、水風船を作って泡を見せ合い、新たな遊びを生み出そうとしている。

【協同性】【言葉による伝え合い】
【豊かな感性と表現】【思考力の芽生え】

Step 2

「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」の読み取りから、ここでは、A児に育まれている資質・能力の視点から捉え、整理してみましょう。

◆3つの資質・能力の視点から捉えると…



◆整理してみると…

B児たちから影響を受けて育まれている資質・能力も併せて整理してみましょう。

- A児は、遊びの中で**B児の考えを取り入れながら**、水風船の仕組み、ゴムの長さや打ち方の違い、打ち方の強さと水の波立ちの違いなど**様々なことに気付き**、水風船の**特性を見つけて**います。
- その特性を生かし、**さらに面白くなるのではないかと予想し**、石けんを入れることを考えたり、**先の体験と関連付けてイメージを広げ、試したり**しています。「ものと**夢中になって関わる**」主体的な環境との関わりを通して、A児の**気付きが広が**っています。
- A児の**学びの原動力**になっているのが、「何と**しても、もっと本物らしくしたい**」という**あきらめない気持ち**や「**もっと面白くしたい**」等の**思いの強さ**です。
- A児の疑問や不思議さに**反応してくれる友達や先生がいた**ことも、繰り返し試す姿につながっています。「**学びに向かう力・人間性等**」がA児の**好奇心や探究心の原動力**となっています。

幼児期において一体的に育まれる資質・能力とは…

幼児期の学びは、「知識及び技能の基礎」や「思考力・判断力・表現力等の基礎」、「学びに向かう力・人間性等」を個別に取り出して指導するものではなく、**夢中になって遊ぶ一連の過程の中で育ま**れていきます。幼児期の学びの特質、つまり**遊びを通して、この資質・能力が一体的に絡み合っ**てこそ、**幼児の確かな学びとなり、小学校以降における「学ぶ楽しさ」の基礎**となっていきます。



幼児期において育みたい資質・能力を踏まえて、教育課程に基づく指導計画を作成し、実践を積み重ねたり、発展させたりしていきましょう。

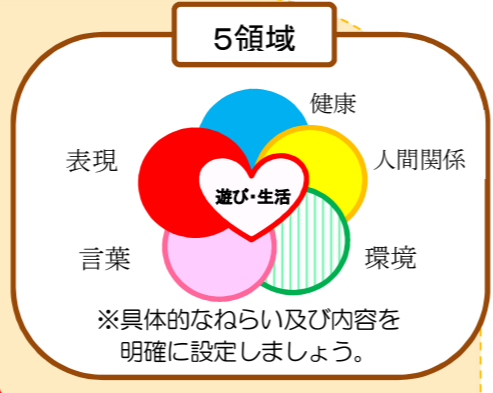


環境を通して行う教育

前日までの幼児の行動の理解と予想を基に環境を構成

遊びを通しての総合的な指導

幼児の自発的な活動としての遊びの展開



① 計画した保育を
実践してみよう！

② 環境に関わるA児の発想やB児の気付きは…

A児の発想・気付き

- ヨーヨーが作りたいな
- バンバンってならない
- ああ、そうか、水か

アドバイスをするB児

水が入っているよ
輪ゴムを長くすれば

ヨーヨー遊びに夢中！

もっと面白くしたい！
石けんが入りたい！

石けんを削ってみては？

共感し、提案する先生

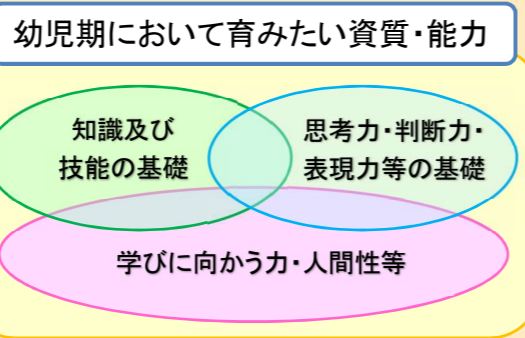
実験だ！

泡ができた！すごおい！

⑧ 次の日の指導計画の作成へ

⑦ 今日の振り返りを基に
明日の保育を計画しよう！

⑥ 育みたい資質・能力の視点から
捉えてみると具体的には
どんなことかな？



③ A児と周りの子供たちの楽しさ、気付き等に共感し、
子供をもっと理解してみよう！

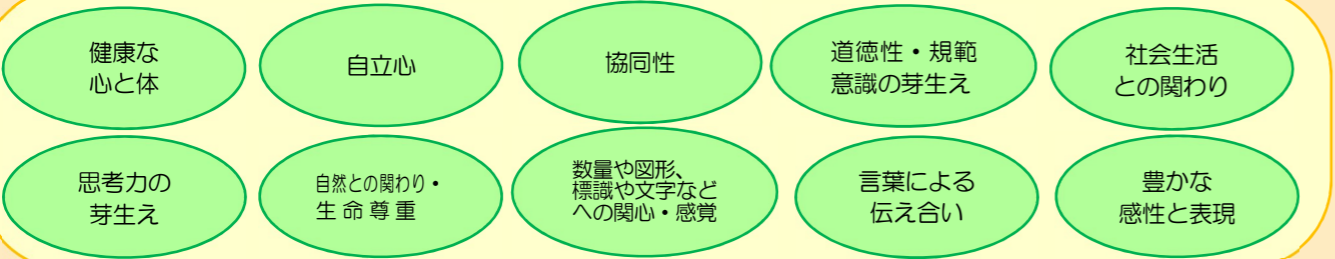
④ この一連の姿を「幼児期の終わりまでに
育ってほしい姿」で読み取ってみると…

⑤ この遊びの中でA児に育っていると思うのは…

自分が経験した今までの知識や技能を駆使して
もっと面白くしようと試行錯誤しながら、自分で
やり遂げようとしているところだね。

読み取りの整理

幼児期の終わりまでに育ってほしい姿



「幼児期の教育における一体的に育まれる資質・能力とは」

— 子供の具体的な遊びや生活の姿から考える —

幼児期の教育は、生きる力の基礎を育む重要なものです。そのため、この時期は、幼児期の教育の基本を踏まえ、幼児期において育みたい資質・能力を培うことが大切です。育まれた資質・能力は、その後の学校教育における生活や学習の基盤となり、夢中で遊ぶ幼児の姿から幼児期において育みたい資質・能力が一体的に育まれていることが捉えられます。

このリーフレットで、一体的に育まれる資質・能力について考えてみましょう。



資質・能力が育まれている姿は、下のように捉えることができます。



幼児期において育みたい資質・能力 (文部科学省「平成28年3月教育課程部会・幼児教育部会資料」を参考にして作成)

「知識及び技能の基礎」

豊かな体験を通じて、感じたり、気付いたり、分かったり、できるようになったりする

- ・基本的な生活習慣・生活に必要な技能の獲得
- ・身体感覚の育成・多様な動き
- ・規則性、法則性、関連性等の発見
- ・様々な気付き、発見の喜び
- ・日常生活に必要な言葉の理解
- ・芸術表現のための基礎的な技能 等

「思考力・判断力・表現力等の基礎」

気付いたことや、できるようになったことなどを使い、考えたり、試したり、工夫したり、表現したりする

- ・試行錯誤、工夫・予想、予測、比較、分類、確認
- ・他の幼児の考えなどに触れ、新しい考えを生み出す喜びや楽しさ
- ・言葉による表現、伝え合い
- ・振り返り、次への見通し
- ・自分なりの表現・表現する喜び 等



心情、意欲、態度が育つ中で、よりよい生活を営もうとする

- ・安定した情緒・興味や関心・好奇心、探究心・粘り強さ・自信
- ・葛藤、自分との向き合い、折り合い・感情や行動のコントロール
- ・思いやり・受容・協力・話し合い、目的の共有・表す喜び
- ・色、形、音等への美しさや面白さに対する感覚
- ・自然現象や社会現象への関心 等

「学びに向かう力・人間性等」

・上の三つの円内に例示した資質・能力は、五つの領域の「ねらい及び内容」及び「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」から、主なものを取り出し、便宜的に分けて記載したものである。